



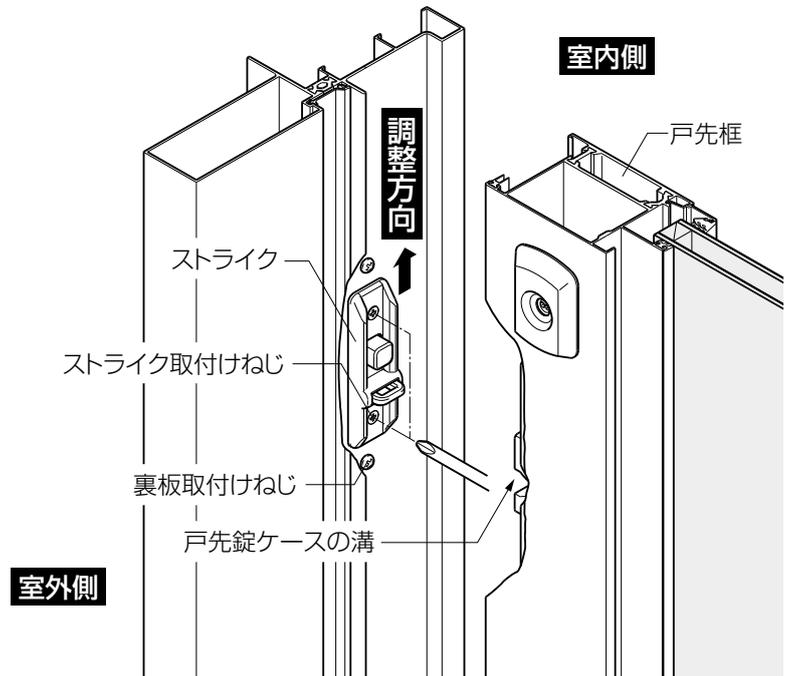
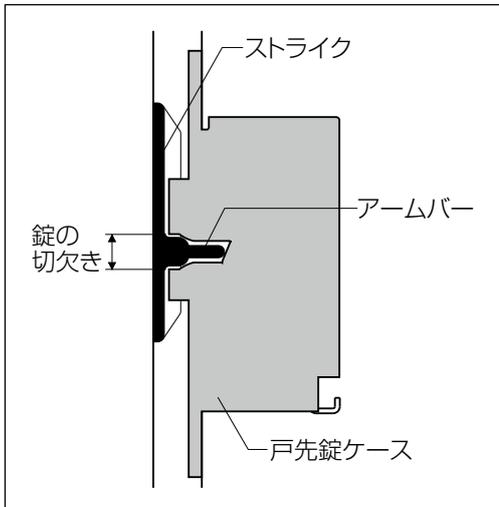
■ストライクの調整方法

1 上方向の調整

- 引手錠がかけにくい場合やラッチがかけにくい場合は、ストライク取付けねじを上下2箇所と裏板取付けねじ2箇所の計4箇所をゆるめ、ストライクを上へ調整してください。(調整幅：上方向5mm)
 - 調整後、すべてのねじを元通りに締めてください。
- ※障子を少し開けた状態でアームバーが錠の切欠きの中心にくるように調整してください。

お願い

※裏板取付けねじを緩めすぎないでください。裏板取付けねじを緩めすぎると裏板が脱落し、ストライクが取付けられなくなるおそれがあります。



2 出方向の調整

- 上方向の調整をしても、錠がかけにくい場合やラッチがかけにくい、又はラッチ解除がかたい場合は、ストライク取付けねじを上下2箇所ともゆるめ、錠受けスペーサー(枠と同梱)の裏表を確認して枠とストライクの間へ差込んでください。(調整量：1枚で約1mm)

※1つのストライクにつき最高で4枚まで入りますが、できるだけ少なくしてください。入れすぎると気密材が当たらなくなり、気密性能の低下やストライクの破損、又は召合せ錠がかからなくなったりするおそれがあります。

